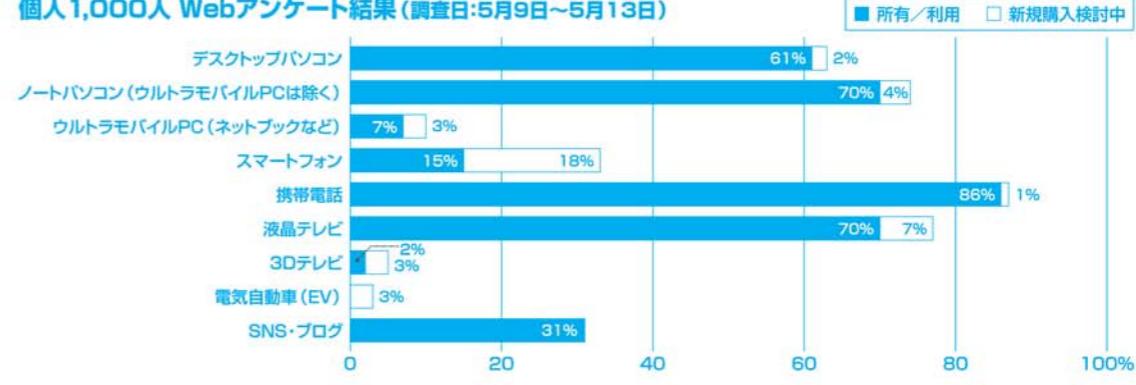


MM総研大賞2011

発表します。次世代のブロードバンド&ユビキタス社会を支える製品・サービス。

ユビキタス社会を支えるIT業界の更なる発展の一助となることを目的に、MM総研では、IT市場を活性化させる製品やサービスを表彰する「MM総研大賞」を創設。今回8回目となる「MM総研大賞2011」では、次世代のブロードバンド&ユビキタス社会の核となる製品・サービス分野2点と、IT産業に大きなインパクトを与えた製品・サービスに贈る「話題賞」8点を選出。また、日本が世界に誇る「ものづくり」の分野で代表的な商品を「ものづくり優秀賞」として3点選出しました。さらに、省エネなど環境配慮に優れた製品・サービスを表彰する「グリーンIT賞」で1点選出しています。これらの中から、最もIT産業の発展に寄与したと思われる製品・サービスを「MM総研大賞」としました。審査は「一般消費者調査」「ノミネート企業への取材評価」「有識者審査」を実施。製品・サービスの認知度や使いやすさ、機能性、革新性、独創性、基盤製品・サービスとしての可能性及び企業の取り組みなどを総合的に評価しています。

個人1,000人 Webアンケート結果(調査日:5月9日~5月13日)



第8回 MM総研大賞 受賞

MM総研大賞
2011

グリーンIT賞

次世代ネットワーク製品・サービス部門

スマートフォン分野

最優秀賞



SHARP 「スマートフォン事業」

10年度の国内スマートフォン出荷台数は前年比3.7倍の855万台、国内総売上高に占める比率も6.8%から22.7%と急拡大した。シャープは從来の携帯電話が持つ、おサイフケータイ機能、ワンセグ、赤外線通信など多くのユーザーが慣れ親しんで来た機能をスマートフォンに搭載。1台目需要に応えることで、国内スマートフォン市場の急速な成長に貢献した。Webアンケートでも「信頼性」や「先進性」でユーザーからの高い評価を集めた。



Panasonic 「エコナビ」

「エコナビ」は、優れたセンサー技術とプログラム技術による運転制御で、家電製品自らがその時々の状況に応じ、電力の無駄を抑えるというパナソニック独自の省エネ技術。日々の生活中で、人の居場所を見分けて冷房するエアコン、生活パターンを覚えて無駄な運転を控える冷蔵庫などで、高い省エネを実現している。昨今の節電への关心・必要性が大きな高まりを見せる中で、幅広い家電製品を持つメーカーとして、早くから省エネ技術に取り組み、「エコナビ」搭載商品を拡充してきた点も高く評価された。Webアンケートでも「認知度」、「環境貢献度」及び「市場性」で高い評価を集めている。

次世代ネットワーク製品・サービス部門

EV&モバイルICT分野

最優秀賞



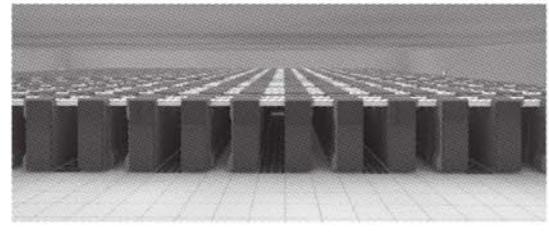
NISSAN 「日産リーフ」

持続可能なゼロ・エミッション社会に向けた新しいモビリティを提案する新開発の量産型電気自動車(EV)。NEOと共同開発した新型のリチウムイオンバッテリーを搭載。CO₂などを一切出さないゼロ・エミッション車として、Webアンケートでも環境貢献度で高い支持を得た。EV専用のITSシステムを搭載し、消費電力の表示、エネルギー残量に応じた到達可能エリア、充電ステーションの位置情報の提供など、EVならではのドライビングサポート機能も充実。

ものづくり優秀賞

ものづくり優秀賞

ものづくり優秀賞



RIKEN FUJITSU

「次世代スーパーコンピュータ『京』」

文部科学省が推進する「革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)」の構築計画の下、理化学研究所と富士通が共同開発している「次世代スーパーコンピュータ」。利用者視点から多様なユーザーニーズに応える革新的な計算環境の構築に貢献する。CPUには、富士通が開発し、高性能・高信頼・低消費電力を兼ね備えたCPU「SPARC64(TM) VIIIfx」を採用。8万個以上のCPUから成るシステム全体は1京(けい)回/秒の高い計算能力を誇る。

NEC



「ドコモ スマートフォン MEDIAS N-04C」

世界最薄7.7mm、超軽量105gのスタイリッシュな筐体に、スマートフォンの高いカスタマイズ性とおサイフケータイ、ワンセグ、赤外線通信機能など充実した機能を搭載。筐体はステンレスと樹脂を一体化させた強剛性ハイブリッド構造で、薄さと強度を両立させた。これまで培ってきた薄型化と高度な実装技術に加え、ソフトウェアのチューニングなどで優れたレスポンス性も実現。スマートフォン市場における高機能な薄型端末としての地位を確立した。



TOSHIBA 「グラスレス3Dレグザ」

世界初となる専用メガネなしで3D映像を視聴できる液晶テレビで、20V型と12V型を商品化。独自の映像処理技術と、20V型にはフルHD映像の約4倍の画素数を持つ新開発グラスレス3D専用LEDパネルを搭載し、9つの映像をリアルタイムで生成することで、自然でなめらかな高画質3D映像を実現した。3D技術の更なる発展による新たな価値の創造を含め、テレビの未来に対する積極的な投資という点でも高い評価を集めた。

話題賞



「Facebook」

現在、世界で5億人強が利用し、広告ビジネスを始め多彩なビジネスが勃興。特に10年度後半から日本企業によるFacebookページの作成やザッカーバーグCEOの公開など、10年度の「話題性」及び「将来的影響力」で高い支持を得た。

docomo

LTEサービス「Xi」(クロッシィ)

光回線並みの「高速性」、「大容量性」に加え、動画、オンラインゲームなどのリアルタイムサービスを、ストレスを感じることなく利用できる「伝送速度」の小ささも大きな特徴。高速・高品質のネットワークを生かした新たなサービス市場の創出が期待される。

NEC

**次世代NWソリューション製品
「プログラマブルフロー」**

次世代NWのオープン技術「OpenFlow」を利用した新たなNWソリューション製品。NWの仮想化、情報の流れの一元管理・最適制御によるNW及びITソースの効率的連携、コスト削減、省エネを実現。NECはOpenFlow製品を世界で初めて「プログラマブルフロー」で商用化。

**amazon
web services**

「アマゾン ウェブ サービス」

「認知度」「先進性」「市場性」で知られるAWS(アマゾンウェブサービス)は、世界190カ国以上の数十万社に顧客を持ち、今年3月には東京にデータセンターを開設。顧客がITインフラでなく業務に集中できるクラウドサービスを提供している。



FUJITSU クラウドサービス「FGCP/S5」

富士通データセンター内にあらかじめ設置されている大規模仮想リソース群から、利用者自身で必要な時に必要なだけ、利用者専用の仮想システム環境を作成し利用できるパブリック型クラウドサービス。リソース配備実行から1時間以内に利用可能という高いオンデマンド性が強み。大企業を中心に「認知度」「信頼性」で高評価を得た。

IBM

「IBM マネージド・クラウド・コンピューティング・サービス」

全てのプラットフォームで、CPU、メモリー、ディスクを顧客の要求に合わせて提供するクラウドサービス。急な使用量増加への即応など、コスト削減と同時に顧客のビジネススピードや環境の変化に柔軟に対応できる上、基幹系システムでの利用が可能。大企業を中心に「認知度」「信頼性」で高評価を得た。

NICO NICODOUGA

「ニコニコ動画「ニコニコ生放送」」

リアルタイムで配信される映像を同時に視聴しながら、コメントの投稿やアンケートなどに参加できるライブ配信、政治や社会の関心の高い問題にも積極的に取り組み、既存のスマートメディアにも並ぶコミュニケーションインフラとしての存在感を高めている。

V-CUBE

「V-CUBE」

インターネットを介して世界中どこからでも参加できるWeb会議システムを提案。2,000社以上の導入実績を誇る。映像音声はもちろん、PDFやワードドキュメントなどの資料も共有可能。操作面においても優れています。特に誰でも簡単に利用できるユーザビリティが高い支持を集めます。

審査員
(敬称略)



審査委員長
安田 浩
東京大学名譽教授
東京電機大学
未来科学部 学部長



前川 徹
社団法人コンピュータソフトウェア協会
専務理事



藤沢 久美
シンクタンク・ソフィアパンク
副代表
法政大学大学院 客員教授



北村 森
商品ジャーナリスト
サイバーパーク 大学客員教授



中村 成希
MM総研 研究部長



MM総研 代表取締役社長
中島 洋

M&D Report別冊版
「MM総研大賞2011 分析レポート」

次世代のブロードバンド&ユビキタスをリードする製品・サービスはこれだ。

定価:3,150円(税込) *7月12日発売予定